

朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の整備計画説明会の開催について

日 時	平成30年4月5日(木) 19:00~21:00
場 所	朝日ヶ丘集会所
出 席 者	こども・健康部長 三井 幸裕 教育委員会管理部長 岸田 太 こども・健康部子育て推進課長 伊藤 浩一 こども・健康部主幹新制度推進担当 和泉 みどり こども・健康部主幹子育て施設担当 長岡 良徳 教育委員会管理部管理課長 山川 範
事 務 局	こども・健康部子育て推進課 教育委員会管理部管理課
参 加 者 数	15人

1 次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

2 配布資料

当日配布資料

3 議事録

(事務局和泉) 本日の説明会につきましては、整備の方向性をお示しするもので、事業者はまだ決定しておりませんので、具体的な内容をお示しできるものではないかとご理解いただきたいと思います。

本日の主な説明内容は朝日ヶ丘幼稚園敷地の認定こども園に関することとなりますので、先に5頁の資料2をご覧ください。

項番1 認定こども園敷地の拡張についてです。当該地区は風致地区に指定されており、様々な規制がかけられております。そのうちの一つに緑地の確保があり、敷地の30%以上を緑地とすること、また、高木、中低木等についても、植樹本数の基準があります。

また、当該地は斜面地であり、敷地内部にも一定の法面がある状態です。

朝日ヶ丘幼稚園敷地のみでの整備を検討しておりましたが、緑地等にかんがって面積を確保しなければならないことや、法面があり平面地での園庭の確保に制限があることから、園庭や園舎に十分な面積を確保するため、

教育委員会と協議し、隣接する朝日ヶ丘小学校の第2グラウンドの一部、約480㎡を認定こども園の敷地として活用させていただきたいと考えております。

次に項番2駐車場の造成についてですが、スクールゾーンにより、時間によって現在の幼稚園の入口側から車の入出庫ができないため、朝日ヶ丘幼稚園敷地の北東部から出入りできるようにしなければなりません。また、敷地内に一定台数の駐車スペースを確保すると、園庭等の面積に影響することから、解決方策として掘り込み式の駐車場の造成を検討することといたしました。

造成工事につきましては、大規模な工事になることが見込まれるため、工期がどれほどになるのか精査が必要ですが、多くの方に利用いただける恒久的な施設を整備するにあたりましては、駐車場の確保は必須であり、このタイミングで検討することが最善と判断したものです。

工期等の精査を踏まえたスケジュールにつきましては、事業者公募までに確定したいと考えております。

項番3岩園保育所改修用仮園舎を活用した小規模保育事業等の運営についてですが、この小規模保育事業所は朝日ヶ丘幼稚園敷地での認定こども園設置運営事業者により運営してもらうことを考えております。

資料1-3のスケジュール上段をご覧ください。

岩園保育所は設備の老朽化が進んでいるため、平成30年10月ごろから大規模改修を行いますが、お子さんの安全面の確保から、平成30年7月ごろから近接する翠ヶ丘町市営住宅跡地に仮園舎を建設し、改修工事が終了する平成31年2月まで、その仮園舎で保育を実施します。

平成31年3月には、仮設園舎から岩園保育所本園舎に戻りますが、空いた仮園舎については、すぐに解体するのではなく、待機児童の大半を占める0歳児から2歳児の低年齢のお子さんを受け入れるために、平成31年度中から朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の設置運営事業者による小規模保育事業所等の運営を行います。

資料1-1をご覧ください。芦屋市立岩園保育所大規模改修に伴う仮園舎での保育の実施について、岩園保育所につきましては建築後39年を経過していることから、大規模改修の必要が生じまして、子どもの安全性配慮のため、近くに仮園舎を設置し、大規模改修中は仮園舎で保育を実施するという事です。改修の内容につきましては、屋上防水、壁、床、天井等の内外装工事、トイレや調理室の乾式化、照明のLED化、冷暖房機器等の更新です。これにつきましては、詳しい説明のご要望もありましたので、後ほど説明させていただきます。仮園舎の位置ですが、岩園保育所が

阪急神戸線の北側にあります。その線路を挟んで南側に市営住宅の跡地がありますので、そちらに仮園舎を建設し、岩園保育所のお子さんが引っ越しします。

どのような仮園舎になるのかと言いますと、資料1-2をご覧ください。こちらは右が北側線路側になりまして、左が南側になります。細長い敷地の仮設園舎となります。出入口につきましては、右側の植栽がありますが、そちらの横から出入りするようになります。

このような整備となりますが、どのような運営をするのか資料1-3のスケジュール下段にお示ししています。朝日ヶ丘幼稚園敷地における認定こども園整備スケジュールについて、岩園保育所で仮園舎を建設して保育を行い、改修工事が終わると仮園舎が空きますので、その部分を朝日ヶ丘幼稚園敷地における認定こども園の運営事業者によって運営していただくこととなります。それをするためには、平成30年8月ごろから事業者の公募を行い、平成31年2月末を目途に事業者の決定をいたします。その後、事業者の説明会の開催を予定します。矢印を上にとどめていただき、その時期の岩園保育所改修スケジュールをご覧くださいと、朝日ヶ丘幼稚園敷地の事業者によって平成31年7月より小規模保育事業所の運営をしていただきます。岩園保育所は2歳児からの受入れなので、平成31年4月から小規模保育事業所用に0・1歳児の受入れ用の改修工事を行い、平成31年7月までに工事を済ませた状態にしておきます。平成31年7月から開園し、運営します。平成32年4月の時点では可能であれば定員を拡大して認可保育所へ認可変更を行い、平成33年4月開園予定の朝日ヶ丘幼稚園敷地で行う認定こども園へ移転していただきます。これによって、喫緊の課題である低年齢児の待機児童解消の一助になると考えております。こういった条件につきましては、募集要項に記載して、公募をしたいと考えています。

本日の質疑を有効に使いたいということでご質問をいただいております。その回答を先にいただきたいとのことでしたので、少し回答の時間を頂戴します。

(事務局長岡) 事前にいただいている項目ですが、岩園保育所の改修の概要についてです。まず、平米数につきまして、床暖房は約100㎡、屋根は500㎡、壁・外壁は600㎡、内壁は800㎡、天井は600㎡、床は400㎡です。

(市民) 定員は何人になりますか。

(事務局長岡) 定員は60人です。

次に、トイレについてですが、大便器が12個、小便器が7個、手洗いが11個になります。それから調理室につきましては、約40㎡です。また、サッシは基本的には取替えます。空調につきましては9台新設する予定です。

予算の見積りの考え方につきましては、公共工事ですので適正な金額で施工することが前提です。改修の内容は一部ですが、改修内容を積み上げた結果、詳細につきましては入札を控えていますので、ご理解いただきたいと思っております。市の予算額としましては1.2億円を予定しています。

(事務局和泉) 精道幼稚園の改修の費用についてご質問をいただいております。精道認定こども園を公立で建ててののですが、現在の精道保育所を解体しまして、新園舎で新しく認定こども園を行おうとしており、工事の期間は2年あります。その期間、お子さんの行き場が無くなりますので、精道幼稚園を改修工事し、精道保育所のお子さんを精道幼稚園で受入れ、その間精道保育所の解体工事、新園舎の建設をして、新園舎が完成しましたら、精道幼稚園にいる子は新しい認定こども園に引っ越しをするという計画を立てています。精道幼稚園の改修の費用ですが、当初この考えを発表した中では5,000万円程度と発表していました。実際に工事は今年の夏休みに行いますが、今年度の予算として、工事費を9,900万円予算計上しています。当初の見込みと違うのは何故かという質問をいただいております。

回答ですが、当初考えていた幼稚園の運営は2年間ですので、必要最小限の給食設備や低年齢児の設備を整えるということで5,000万円と考えていました。実際に具体的な運用面を考慮して設計を行いますと、例えば、0歳児の園庭の確保や駐輪場のことなど、運用に至っては必要だということ積み上げていき、費用を出しました。

次に、朝日ヶ丘幼稚園敷地での認定こども園の駐車場整備は掘り込み式を予定していますが、朝日ヶ丘プール横の駐車場を使用したほうがいいのではないかというご質問です。朝日ヶ丘プールの前の道路がスクールゾーンで時間規制があり、スクールゾーンと保護者の送迎の時間が重なりますので、使用できません。スクールゾーンはどのような経緯でスクールゾーンになったのかというご質問です。通学路は小学生の子が一番安全に登校できるルートとして設定していると認識しています。時間規制につきましては、地域の方が、安全に登校できるようにと地域の要望も固まって警察に申請されて、スクールゾーンと承認されたと認識しています。そのような経過もあり、規制を解除して駐車場を利用することは困難だと考えています。

次に、補助金についてのご質問ですが、建設費の補助につきましては、

国・市・事業者で負担割合を持っていますが、どのような内容になっているのかというご質問です。国が1/2，残りの半分を市が1/4，事業者が1/4を持つということが基本的な負担割合の考え方です。平成29年度まで待機児童解消加速化プランがありまして、保育所部分の建設費については国が2/3，市が1/12，事業者が1/4の割合で行います。このプランにつきましては、平成32年度まで子育て安心プランという名称に変わっています。条件はありますが、待機児童解消加速化プランから引継がれているプランになります。

朝日ヶ丘幼稚園敷地での認定こども園の建設費の補助につきまして、市の負担をどれくらい見積もっているのかというご質問ですが、昨年、あり方を発表させていただいた時に、解体と認定こども園を建設する部分の補助の市の負担額は2.1億円を見込んでいます、とお伝えしました。ただ、この金額につきましては、待機児童加速化解消プランが終了するという見込みで負担割合を1/4で計算したものでした。今回の説明会で説明しています掘り込み式での駐車場の整備についての費用は含まれていません。

(事務局伊藤) 3点説明させていただきます。

1点目は、公立保育所は駐車場がありません。なぜ朝日ヶ丘町の認定こども園で掘り込み式の駐車場が必要なのかというご質問です。認定こども園ですので、保育を必要な方の利用が見込まれています。保育所の新設が難しいという問題の一つに送迎時の車の問題があります。保育所を利用される方の車の対策が必要だということが最近の前提となっています。芦屋市も例外ではありません。今回整備するのは認定こども園ですので、保育を必要とする方の利用があり、駐車場は必要ということで掘り込み式を説明させていただいています。

2点目は、今日の説明会でのご意見やご質問の取扱いについてです。すぐ対応できることがあればいたしますが、基本的には持ち帰りまして、取り込めるところは取り込んで今後の募集要項に反映するように考えていますが、全てのことを取り込めるところではありません。いただいた意見を検討させていただきまして、活かせるところは活かしたいと考えています。

3点目は、認定こども園は国の配置基準があります。例えば、1歳児について、国は保育士1人に対して子どもは6人という割合ですが、芦屋市は保育士1人に対して子どもは5人と手厚くさせていただいています。それはなぜかというご質問です。丁寧な保育をしたい、保育の質を高めたい、先生の数が多ければ質が高いということではありませんが、人も大事ですので、国よりも配置基準を高くしています。事前にいただいているご質問

は以上です。

(事務局田中) それでは、質疑に移ります。

(市民) 駐車場の問題ですが、今説明がありましたように、園舎の市の負担が2.1億円です。駐車場については先日の説明会で2億円ということでした。このことに関連しまして、精道認定こども園では、1億円を費やして精道幼稚園を改修し、2年間だけ使用して解体するとのことでした。それは、もったいないです。今回の朝日ヶ丘町の認定こども園についても税金の使い方が極めて疑問です。また、市議会との関係ですが、前回では全額市が負担するとのことでしたが、資料1-3にスケジュールがあります。そこを見ますと、今年の8月に事業者を公募するという流れが記載されています。事業者の公募を議会に説明するにあたり、掘り込み式の駐車場については全額払うということを説明されるということになれば、6月の市議会で芦屋市が全額負担する費用を説明されるのですか。それとも、平成33年3月に建物が完成しますが、その後3月市議会で発表されるのか教えてください。

また、誰が費用の金額の計算をしているのか教えてください。芦屋市には土木職員がいると思いますが、土木職員が駐車場の入口の場所を決めて、見積りして、計算を出すということでしょうか。事業者が委託した業者を信用しているわけではないと思いますので、芦屋市が責任を持って行うということでしょうか。

あと、六甲山は大きな石があります。例えば、開森橋では大きな石が出てきて予算をオーバーしていました。大きな石が出てきた場合、事業者も困ると思いますので、別途契約となるのでしょうか。

(事務局和泉) 造成費に関しまして、スケジュールに載っていますとおり、8月に公募を開始する場合は6月市議会で募集条件を説明させていただきます。そこで金額等の精査をさせていただきます。

(市民) 6月市議会で駐車場の予算を提案されるのですか。

(事務局和泉) 予算は違います。費用がどれくらいかかるのかです。

次に、誰が積算を行うのかですが、大きな工事は基本設計を行います。そこでこれくらいの工事規模になるということが分かりますが、大体の積算は市の建築関係の専門職員がいますので、市の積算基準から大体の金額を出しますが、実際の詳細な仕様等を含めたことにつきましては基本設計で決まってくる。6月議会等で説明する金額につきましては、市の内部での積算で概略を説明させていただくこととなります。

(市 民) 基本設計は市が行うのですか。

(事務局三井) 市の直営の工事であれば基本設計、実施設計と市が行いますが、今年度の4月に開園した認定こども園は、国の上限額、子どもの人数に対してこの金額までという基本額が決まります。それ以上の金額は事業者が出されています。設計などは事業者の作業になります。ただ、入札する場合は市のルールになります。市に登録された業者を使うなどのルールがあります。建物につきましては国の補助もありますので、国の基準になります。駐車場につきましては、国の補助がありません。市の考え方というのは平地に作るのであれば、一切駐車場の補助はしていません。しかし、今回は朝日ヶ丘幼稚園で認定こども園を行う必要があると考えています。時間規制のあるスクールゾーンの問題を考えますと、掘り込み式の駐車場を作る必要があると考えます。全ての費用を事業者が負担するとなると、手を挙げる事業者はいないと思います。市が作って事業者に貸すという方法もあると思いますが、工事は一体的にしたほうが良いと思っています。解体についても同じです。上限額を決めて、その範囲の中で工事を行うという形で駐車場の上限額をどのようにするのかは市で考え方を公募までに整理します。それを受けて工事を行うのは事業者が行います。

転石につきましても、出る可能性があると考えています。地下埋設物は今の段階では分からず、掘ってからどのようにするのか考えます。出てきた場合は市の責任が入ってくると思います。

(市 民) 概算はありますか。

(事務局三井) まだ分かりません。

(市 民) 建物が2.1億円で、駐車場が2億円で否定されませんでした。建物と駐車場が同じくらいの金額を費やすと理解しています。6月議会までには数字は出ますか。

(事務局和泉) 先ほど説明したことは建物の解体と建設部分の補助の合計です。

(市 民) 駐車場とはマイクロバス等の送迎用の車だけですか。

(事務局和泉) 保護者の方が子どもを送迎するための駐車場です。

(市 民) 保育所のバスはありませんか。

(事務局和泉) 考えていません。

(市 民) 何台を予定していますか。

(事務局和泉) まだ難しいところはありますが、しおさいこども園が180人規模で19台整備されています。朝日ヶ丘町でも車での送迎が多くなるということを見込むと同程度の台数は必要になるのではないかと考えています。

- (市 民) 19台くらいを予定していますか。
- (事務局和泉) はい。
- (市 民) 駐車場は北側ですか。曲がった道路に朝十数台も来て大丈夫ですか。検討していただいたのですか。
- (事務局和泉) テニスコートの跡地でマンションを建てている向かいのところから入ります。
- (市 民) 安全性は大丈夫ですか。
- (事務局和泉) 安全は気をつけないといけないと考えています。出入口で危険を回避できるような対策も考えて設計を事業者にしていただくように考えています。
- (市 民) 160人の待機児童がいるとのことですが、平成31年7月に朝日ヶ丘町の認定こども園の子どもが翠ヶ丘町の仮園舎に入るといいますか。
- (事務局和泉) 朝日ヶ丘町の認定こども園ができていませんので、新規で入所する方を募集します。移っていただくのは翠ヶ丘町の仮園舎に入っていた子どもが新園舎に入ることになります。
- (市 民) 朝日ヶ丘町の子どもが行くということですか。
- (事務局和泉) 朝日ヶ丘町の子どもが入るとは限りません。
- (市 民) 朝日ヶ丘町の認定こども園の子はどこに行くのですか。
- (事務局和泉) 朝日ヶ丘町の認定こども園の子はまだいません。翠ヶ丘町では新たに小規模保育事業所を開設しますので、新規入所の子どもが来ます。朝日ヶ丘町の子もいれば他町の子もいます。
- (市 民) このままいきますと、160人の待機児童は平成32年にはどのように推移するのですか。配置基準は先生1人に対して子ども5人とのことですが、認定こども園でもそれに従うということですか。
- (事務局伊藤) それが条件で公募を行います。
- (市 民) 待機児童の推移を教えてください。市の待機児童の解消に則っているのですか。
- (事務局伊藤) 待機児童についてですが、人口は減少していますが、保育所の利用は規模が増えている状況です。見込みは難しいですが、例えば、平成29年度の実績としましては139人でした。それから積算していますのは平成32年度では138人です。横ばいです。平成37年度では58人程度に減少できるのではないかと見込んでいます。
- (市 民) 160人とは何の数字ですか。
- (事務局伊藤) 平成30年4月の実績です。
- (市 民) と言うことは、平成29年度よりも増えたということですか。
- (市 民) 潮見圏域で認定こども園が開園しましたが、それでもこれだけの待機児

童がいるのですか。

(事務局伊藤) はい。

(市民) 朝日ヶ丘町の認定こども園は定員を何人にするのですか。

(事務局和泉) 事業者の提案になりますが、規模的には150人から200人程度です。待機児童も多いので、市としましては保育所の定員を90人から120人出していただければいいかと思っておりますが、あくまでも事業者が提案した定員になります。

(市民) 市議会のライブの録画で民生文教常任委員会の審議する内容を聞きました。そして、今の説明を聞きましたが、分かりにくいです。毎日様々な質問が出ているのに、それを簡単に分かりやすく説明する技術がありません。議員も時間をかけて討議したのであれば、この件に関して議員はこのように考えているということを地域の説明会で説明すべきです。

今回の問題は3つが混ざっているから複雑になっています。それはどういうことかと言うと、一番のポイントは岩園保育所の大規模改修を39年間何もせず、適当にしてきました。今年度の予算で岩園保育所の改修の予算が1億1,900万円と仮園舎の予算が6,000万円を通りました。岩園保育所の改修を行うのに6,000万円も仮園舎に使うのか、市民としては納得できません。子どもが生活しながら工事ができないと言っていますが、私の感覚から言うと、岩園保育所が行う工事は3か月でできます。今、岩園幼稚園の定員は210人です。しかし、現在、4・5歳児で66人しか入っていません。岩園保育所は60人です。合わせて126人です。岩園幼稚園は210人入ることができ、新しい教室がたくさんあります。岩園保育所から岩園幼稚園まで歩いて9分で行くことができます。岩園保育所の保護者の方に市の6,000万円を無駄にせずに9分歩いてほしいです。子どもは岩園小学校に通うのだから、喜んで通うと思います。保護者が9分歩くことがポイントだと思います。

議員や自治会の人が言っていることは、この前の道は危険だということです。ここに仮園舎を造ることは危険だと意見が出ています。今回、議員も稲荷山線のフェンスで囲っているところを利用しないのかと言っていました。それは市民の感覚では当たり前です。しかし、市は使えないと一点張りです。3か月の仮設を造るのではなく、岩園幼稚園まで歩いてほしいです。

同じように必要になるのは緑保育所も同じ時期に建っています。大規模改修となる時に土地がないと大規模改修ができません。そうしたらその人は伊勢幼稚園や潮見幼稚園に分散して3か月だけ乗り越えたら仮設を建

てるお金はいりません。これが提案です。これは、保護者の合意がないとできないことです。教育委員会は幼稚園，子育て推進課は保育所と横で協力関係がなく，2号の人は幼稚園に入れたいと言っていますが，政府は幼稚園で2歳児を受け入れることを盛んに言っています。緊急の3か月の対応ができれば10分歩いて立派なところに通い，3か月で戻ることです。

2点目の問題は小規模保育事業所を早く造りたいとのことですが，朝日ヶ丘幼稚園の空き教室に小規模保育事業所を入れたらいいのではないですか。朝日ヶ丘幼稚園以外で岩園幼稚園でもいいですし，空いたマンションの1室でもいいです。山手圏域には民間の施設があり，その定員がいっぱいになっていない状況で，造っても余るのではないかと思います。小規模保育事業所を造るのであれば場所を考えて，認定こども園とリンクする必要はありません。

最後に認定こども園で駐車場の問題があります。今の説明を聞いて，市はこの説明でいいのでしょうかと思います。涼風町は面積があり，19台の駐車場がありますが，朝日ヶ丘幼稚園は土地が無く，入れる場所がないので掘り込み式にして19台整備したいとのことですが，精道保育所を認定こども園にする時には19台の駐車場を造るのですか。今聞いていることは市役所の駐車場，青少年センターの駐車場，近隣のコインパーキングの利用とのことですが，今になると19台の駐車場の整備が基本になりつつあります。それは理屈が合いません。駐車場に関しては，議員も危ないと言っています。ただ，安全に配慮しますと言っているだけです。市が関与するのは基本設計だけです。地下に入る方向はここ，入る台数は何台，その条件に合った基本設計を業者が行う。基本的には安全に配慮すること，周囲の住民との問題がないように，合意をとることなどの条文だけを書いて，あとは地域と事業者が問題になるということが見えています。この件に関しましては，市が駐車場の問題があるから，その問題に関しては市が入って地域との合意を取り，基本設計は市が行うと認識しています。それをここから入って何台整備するということは事業者が行うという考え方は話がおかしいかと思えます。

そもそも朝日ヶ丘町には駐車場がありません。結論から言うと，朝日ヶ丘プール横の17台の駐車場を使うか，道を渡ったコインパーキングを使うか，公園の一部を掘削するか，近くのマンションの駐車場を3，4台借りるようにして，コインパーキングと同じように借り上げるか，考えられるアイデアはこれくらいだと思います。

全部，認定こども園にすることがいいことだとは思っていません。認定

こども園は幼稚園と保育所が一緒になり、山手圏域は保育所が少ないから朝日ヶ丘幼稚園に造りたいとのこと。であれば、公立でしたらいいのに、経費がかかるから民間に任せたいと言っています。認定こども園を造るというアイデアと運営費が高いということが混ざっているから話が複雑になっています。市は運営費を下げたい、しかし、市民は歩いて通う人が多いので、大規模な施設を造らなくていいです。朝日ヶ丘町に待機児童はあまりいません。

160人待機児童がいると言っていますが、これは隠された数字です。0歳児の定員は140人の受皿があります。新しく入る子どもは92人です。48人分が空いています。ところが待機児童は14人います。48人分の受皿があるのに14人の待機児童ということが今の待機児童の裏側です。芦屋市に待機児童はほとんどいません。待機ポイントを稼ぐ、育休の延長をする、点数を稼ぐために入所の申込みが増えています。山手圏域の0歳児から2歳児は10人ほどです。多くみても20人です。1つ小規模保育事業所ができれば十分です。あと数年したら子どもの数が減ります。今から新しいものを造って、子どもがいなくなったと言っても仕方ないです。今ある施設を最大限に活用してください。

朝日ヶ丘幼稚園に関して安くしたいというのであれば民営化にする、待機児童を解消する施設が必要であれば小規模保育事業所を運営したらいいです。近郊から来るので車で送迎しないといけないような施設をつくる必要はありません。2月に400人の待機児童がいるという数字を出していますが、4月になったら100人ほどに下がります。では、その人数はどこに行ったのですか。認可外保育所などに行っているのではありませんか。昔だと認可外保育所は非常に危ないという認識でしたが、今は認可外保育所もレベルが上がっています。待機児童の数は400人が4月には100人に下がっているのではありませんか。本当は分かっているのに市民に説明しません。議員は待機児童対策と言っていますが、芦屋市に待機児童はほとんどいません。

今、幼稚園は3歳児が先生1人に対して子どもは30人、4歳児が先生1人に対して子どもは30人、5歳児が先生1人に対して子どもは35人です。保育所は3歳児が保育士1人に対して15人、4歳児が保育士1人に対して子どもは20人、5歳児が保育士1人に対して子どもは20人です。なぜ同じ年齢で先生の数が違うのでしょうか。1か所に集めるからそのようになるのではありませんか。

駐車場は誰が見ても危ないと思うところに作ってははいけません。小規模保育事業所に関しましては朝日ヶ丘幼稚園の空き教室で行えば秋からで

も実施できます。

朝日ヶ丘幼稚園敷地の入札を2つしてほしいです。今の建物を維持して運営する方法と、新園舎を建設する方法の2つをしてください。

(事務局伊藤) 最後の意見の2つの公募につきましてはできません。芦屋市は今回の件については解体して新設するという方向性で考えています。現在の建物を維持して認定こども園をすることを選択していません。

(市民) 建物を壊さない考え方と壊す考え方の2つを残して、住民の意見を聞いてほしいです。金額がどう違うのか詰めて初めて案ができます。認定こども園に決まったから戻れないのではないですか。

(事務局伊藤) いただいたご意見全部ができるわけではありません。解体をせずに計画をするということではできません。

(市民) なぜできないのですか。プロポーザルをして、よく考える人が考えたら壊さずにできるのではありませんか。「公設民営で行います。駐車場も必要ありません。」という考え方をする事業者がでてきたらどうしますか。決めるのは選定委員会ですよね。市民がそれを見て、どちらがいいかということを確認にしないといけません。入札前に初めて分かるのではなく、どれくらい費用がかかるのか明確にしないといけません。

(事務局伊藤) 浜風幼稚園の時も同じような話がありました。解体せずに残してほしいという意見もありましたが、動線の問題や給食室、低年齢児のことが幼稚園ですので建設時に検討されていません。事業者にも意見を伺いましたが、新設した方が子どものために良いという方向性を持ちましたので、朝日ヶ丘幼稚園につきましても同様の考え方で建物を維持する方向性は考えられません。精道幼稚園は時限的なものとしてなんとかしていきませんが、恒久的な施設につきましては考えていません。

(市民) そう言いますが、朝日ヶ丘幼稚園の近くのマンションに設計会社の部長がいます。その人と話をした時に朝日ヶ丘幼稚園は寿命100年持つと言っていました。内装の改装などはしないといけませんが、十分持つと言っていました。有効に使うアイデアは考えたらいくらでも出てきます。それを否定されることがおかしいです。

(事務局伊藤) 建物の躯体が問題だからではありません。芦屋市は公共施設の長寿命化という方針を出していますので、芦屋市としても、今回の決断も重きをおいた決断です。それと恒久的な認定こども園の安全性を考えたら、長寿命化という方向性もありますが、それを踏まえても建替えた方がいいということです。建物がもたないというわけではありません。

(市民) 建物がもたないというわけではないのであれば、動線がどうと言いますが、設計者が入って考えたら、今の建物を使用して低年齢児も使用できる

ような提案ができるのではないですか。誰もできないと言うのであれば認定こども園にすればいいです。公募で提案があればそれをみんなが見て判断すればいいです。市は公立でしたくないのでしょうか。民間にしたいということでしょう。2億円かかっても民間だと運営費で安くなると言っていました。

(事務局伊藤) 民間にしたいというわけではありません。学校教育審議会の答申を踏まえてです。

(市 民) そこについては、学校教育審議会と言いますが、小学校が8校あって、幼稚園が8園あって何がいけないのですか。中学校が3つあるから、中学校に合わせて1園か2園というのが学校教育審議会の答申です。中学生は端から端まで歩くことができますが、小学生は歩くことができないから8校です。もっと歩くことができない幼稚園が中学校と同じ配置になるのですか。小学校が8校あるのであれば幼稚園も8園あってもいいのではないのでしょうか。

(事務局岸田) それを突き詰めると、幼稚園が5人になっても10人になっても残すということですか。

(市 民) そうではありません。小学校が空いても残すのですか。

(事務局岸田) 小学校は一定規模がありますが、幼稚園をなぜ縮小するのかと言うと、1,500人の定員のうち500人しか園児がいなく、片や保育所では待機児童が年度末に400人いるからです。

(市 民) 幼稚園がなぜこれまで減ったのか。夕方まで見てくれる人が保育所はいるが、幼稚園は朝8時50分から14時30分までと、働く保護者へのサービスが全然できていないからです。保育所の3・4・5歳児を幼稚園に入れたら保育所の3・4・5歳児の枠が空き、0・1・2歳児を入れたら待機児童の解消になります。

(事務局岸田) そのために認定こども園にします。朝日ヶ丘幼稚園敷地をこのかたちでするのはこのためだけに1月に臨時議会を開いて、議決もいただいていますので、この考えを変えることはありません。ご意見としてはお伺いしますが、朝日ヶ丘幼稚園敷地のやり方を見直すことはありません。

(市 民) 駐車場は下から園舎に上がりますが、これはエレベーターですか。

(事務局和泉) 事業者の提案になります。

(市 民) 芦屋市が全額費用を出しますよね。

(事務局和泉) 駐車場の造成についてです。

(市 民) 駐車場に伴うエレベーターですから、関係する費用ではありませんか。

(事務局和泉) 必要かどうかの判断は事業者が必要と考えれば設置しますし、そうでな

いということであれば設置しないと考えます。

(市 民) 朝日ヶ丘町の認定こども園に180人が来るのか質問です。4月からしおさいこども園と浜風あすのこども園が開園しています。お聞きしたいことは、2つの大きな認定こども園は潮見圏域にあります。山手圏域、精道圏域から何人の子が通園しているのですか。

(事務局長岡) しおさいこども園は2・3号では現在59名が入所しています。その中で、潮見圏域は52名、精道圏域が6名、山手圏域から1名の合計59名です。浜風あすのこども園ですが、2・3号では現在122名が入所しています。潮見圏域は96名、精道圏域が21名、山手圏域から5名の122名です。

(市 民) 今おっしゃったことは保育所部ということですか。

(事務局長岡) はい。

(市 民) 逆にここは北側ですので、南側から北側に上がる見込みはどのように考えていますか。今、お聞きしますと、しおさいこども園は59名中ほとんど潮見圏域が占めています。浜風あすのこども園につきましても122名中96名が潮見圏域です。その考え方からするとどうなりますか。下から上がって来ないのではありませんか。

(事務局伊藤) 認定こども園も保育所もそうですが、圏域ごとの整備で圏域外の利用の判断はあると思いますが、今回の朝日ヶ丘町の認定こども園につきましても、保育定員が90人から120人ですが、山手圏域の待機児童の年度末だと平成29年2月では112人の待機児童がいます。この人数をカバーするという視点で整備を行っています。

(市 民) 年度始めになったら112人が何人になりますか。

(事務局伊藤) 資料が古いのですが、平成29年4月時点では53人でした。年度末になると増えます。圏域外も制限していませんので、あるとは思いますが、そこが何人見込んでいるということではありません。

(市 民) 山手圏域は朝日ヶ丘町と楠町、上宮川町も山手圏域ですよね。前田町や清水町も山手圏域ですね。谷がかわって山芦屋町や西山町も山手圏域です。そういうところからわざわざ朝日ヶ丘町まで上がってくるとは考えられません。本当に200人規模は大丈夫ですか。

(事務局伊藤) 待機児童の数をみても大丈夫だと判断しています。

(市 民) 待機児童がいる前提で話をしますが、生活圏内から考えると、埋まらないのではないですか。

(事務局伊藤) 圏域ごとの整備であり、西には山手夢保育園があります。できるだけ東西のバランスも配慮しますが、そこを踏まえた上でできるという判断です。

(事務局岸田) 年度当初の待機児童の変動の理屈の説明がまだでしたね。

(事務局伊藤) 新年度を迎えれば0歳児は1歳児に上がりますので、この平成30年4月には0歳児の140人の枠が新たに生まれます。1歳児につきましては、211人の枠があり、0歳児の枠は140人ですので、70人の枠が生まれます。まず認可保育所の中での定員が0歳児から2歳児で270人ほど埋まります。そこに入ることができます。

(市民) 今の4月のデータで待機児童が162人いるとホームページで公開しています。0歳児を見ると、定員が140人あります。しかし、入所は92人です。枠は48人空いています。しかし、待機児童は14人います。同じようなことが4・5歳児でも起きています。また、全体に関しても、定員の枠が1,369人あります。しかし、公立と私立合わせて入所している数は1,330人です。それだけでも39人の枠が余っています。しかし、待機児童は162人います。

なぜ、そのようなことが起きるのかと言いますと、「私はあそこに行きたい。」「南側の施設が空いていても通えない。」と保護者の希望と合わないことが起きることは分かります。20人から30人が待機児童の本当の数だと見えてきます。しかし、年度末になったら400人の待機児童が出るというのであれば、年度末に入所の書類を出した人が全員入所するという署名をしないといけません。今、認可外保育所は450人ほどの枠があります。インターナショナルスクールなど立派なことをしていても認可外保育所です。保護者が費用を払ってくれるのであれば、好きなことをしたいということが今の認可外保育所です。

待機ポイントを稼ぐ人が半分以上います。本当の待機児童は少ないということを知っているのに、それを分からないようにしているのではないかとということが私の理論です。

(事務局伊藤) 瞬間的には今ただちに入らないといけない方から、少しは待てるという方まで幅はあります。平成30年4月の待機児童数は163人が正しい数字ですが、163人の方々は今の瞬間がどうかということはありません。保育所に入らなくてもいいという方はいないと認識しています。芦屋市としては163人が待機児童だと認識しています。

(市民) 国、県に報告している芦屋市の待機児童の数は30人ほどです。待機児童が400人と言いながら国や県に報告している芦屋市の待機児童は30人です。なぜかという基準が違うからです。朝日ヶ丘町に保育のニーズはないと思っています。なぜならば他施設は定員を満たしていません。施設を造って、年度終わりでも定員を満たしていない場合は責任を取りますか。

- (事務局伊藤) 年度末には定員を満たしています。
- (市 民) すごい金額で認定こども園を造って、子どもが来なかったら、部長は責任取るのですか。その頃には違う人になっているのではないですか。大事なお金が無駄になるのではありませんか。慎重にならないといけないのではありませんか。
- (事務局伊藤) 他施設については年度末には子どもがいます。小規模保育事業所は0歳児から2歳児しか入れません。0歳児は育休の制度がありますので、年度当初だと小規模保育事業所の場合は特に定員を満たしにくいですが、年度末には定員を満たしています。基本的に163人については瞬間的には待てるかもしれませんが、待機児童という認識をしています。
- (市 民) 幼稚園と保育所で子ども1人に対する先生の数が同じ年齢で違うのはどうしてですか。合理性から考えると幼稚園のほうがいいです。先生1人で30人見ることができるのを保育所だと保育士が2人必要になります。
- (事務局伊藤) 保育時間が違います。
- (市 民) はい。幼稚園は教育時間が決まっており、そこからの延長時間は教育をしません。見ているだけです。そうすると、保育所も幼稚園も同じ教育だと市は説明しているのだから、幼稚園で保育所と同じような延長をすればいいのではありませんか。
- 全国平均の幼稚園の運営費は1人あたり60万円です。芦屋市は100万円です。保育所は1人あたり200万円かかっています。全国平均は120万円です。
- (市 民) きちんと見てもらえているのだからいいではないですか。
- (市 民) それがだめだから民営化をずっと言っています。
- (事務局岸田) そのようなことは言っていないです。先日本お伝えしたことは金額だけの話で反対されるので、あえてそのような伝え方をしましたが、金額だけで考えたら、長い目で見たら違うという言い方をしました。民営化をしたいのではなく、幼稚園に通う子どもの数が減っているから、その部分は認定こども園にして、待機児童対策をするということです。民営化することに重きを置いているわけではありません。
- (市 民) 話が違うのではないですか。大東保育所や打出保育所は民営化をすると2.5億円の市の負担が減ります。なので、保育士が退職するタイミングで民営化するということです。大きな目的はそこで浮いたお金は他の費用に回しましょうということがポイントですよ。
- (事務局岸田) それはあり方の理由の1つです。
- (市 民) 公立小学校が8校あって、公立幼稚園が8園あってどうしていけないの

ですか。中学生は歩くことができますが、小学生は歩くことができないから8校あります。さらに歩くことができない幼稚園が8園あってもいいのではないですか。芦屋市のコンセプトは歩いて通える施設ということが伝統的な考え方です。歩いて通えるので駐車場がありません。朝日ヶ丘町の認定こども園につきましても歩いて通えるようなかたちになれば駐車場なんていりません。それを遠くから子どもが来ることができるようにという前提で認定こども園にするから、駐車場を作らないといけません。朝日ヶ丘町の認定こども園に通う人は遠方から来ません。

(市 民) 議会で決まったことではありませんか。

(事務局伊藤) やり方や金額はまだこれからです。

(市 民) 方向的には決まっていますよね。

(事務局岸田) 各小学校と同じように幼稚園があることについて否定はしていません。なぜ幼稚園を造ってきたのかというのは1,900人の子どもがいたので8園造りました。今は500人です。それでも8園残すのですか。

(市 民) 500人と言いますが、保育所に350人行っています。3・4・5歳児は教育なのだから、保育所の子を幼稚園に通えるようにすれば、保育所の3・4・5歳児のスペースが空きます。建物があればあとは保育士だけです。そうすると待機児童はすぐに対応できます。精道保育所が精道幼稚園に移動しますが、その時に3・4・5歳児だけ精道幼稚園に移動して、0・1・2歳児は精道保育所に入れると芦屋市の待機児童はすぐに対応できます。

(市 民) 2億円の園舎の市の負担と地下駐車場も場合によっては2億円負担することについては市民の中で論議しないとはいけません。

(市 民) 朝日ヶ丘幼稚園が廃園になる話の中で、認定こども園は場所的にも駐車場の問題も絶対に難しい、本当に民間が来てくれるのかという質問を以前しました。非常に難しい場所です。なぜ、ここに認定こども園を造らないといけないのですか。市営住宅が移転になり場所が空くなど、山手圏域全体で変化が起きています。そのようなことを検討して、どこに認定こども園を造ればいいのか、どれくらいの規模が必要なのか、検討したということが見えません。

たまたま幼稚園があつて認定こども園にすることが決まったので、認定こども園にするためには駐車場が必要となったのだと思いますが、駐車場をそこに作ることは反対です。テニスコートがある時であればやむを得ませんが、そこに大きな施設ができます。そのような状況の中、地下のよう

な駐車場を造るべきではありません。どこかに探すような検討をしたのかどうかが見えてきません。このマンションに何台かお願いしようなど、考えれば可能性はあると思いますし、プールの駐車場を使う、スクールゾーンを認定こども園に通う車だけを通して他は通行禁止にするなど、様々な方法がありうる中で、このような無駄なことはすべきではありません。すぐ横の公園の利用方法もあると思いますが、検討しましたか。今の施設の中で考えたら地下を掘るしかないというようにしか聞こえませんでした。しかも、相当な金額です。

(事務局岸田) 検討で言いますと、駐車場のことですが、分割して借りるという案も考えました。テニスコートにできるマンションは病院が併設されるそうなので、病院の来客駐車場も直接業者に問い合わせしましたが、病院を運営してみないと分からないとのことで保留の返事でした。例えば朝日ヶ丘プールを無くしてそこに認定こども園を造るということも議論しました。そうすると朝日ヶ丘小学校のプールが無くなります。結論は、遠方から来る方もいるだろうし、0・1歳児の子を自転車に乗せることを考えると一定台数の駐車場が必要だろうと考えて、多少費用はかかりますが、利用者からすると、雨の時にも大丈夫ということで今の掘り込み式駐車場になりました。

テニスコートはマンションになりますが、入口は北側です。この面は出入りがありません。テニスコートと同じ状態ではないかと考えていまして、幼稚園側に出入口があれば危ないですが、出入口が北側です。

(市 民) 病院も介護施設もどちらも北側ですか。

(事務局岸田) 入口は北側だと聞いています。

(市 民) 建築課に図面を見せてもらいに行きました。図面を見ると歩道は幼稚園側にしかありません。テニスコート側は塀になります。人が歩くことができません。幼稚園側の歩道を人が歩きます。そこを切り込むこととS字カーブになっているので、車からは見えません。非常に危険です。それは議員もみんな言っていました。「これから考えます。」という答えばかりで費用のことも早く言ってくださいということが結論でした。どのような安全対策をするのかも何台入るのかも決めていましてと言っていました。みんなの意見を聞くことが今日の説明会だということは分かりました。みんなが危ないということを言っていて、市はそれを聞いてどのように今後行うのかというと、案をまとめて6月に説明します、とのことですが、このように考えているという説明がもう一度必要ではありませんか。前もそうでしたが、言うだけ言ってあとは勝手に進むことを心配しています。朝日ヶ

丘町の市民のほとんどがあそこは危ないから造るべきではないと思っています。しかし、市はそれしかないという答えばかりです。本当は違いますということを言いたいです。

(市 民) 駐車場の話ですが、どのような方向に出るかにより、バスは通り、テニスコートにできるマンションの病院は救急指定病院で救急車も通ります。右側に回るのであればカーブになっていますので、見えなくなると思います。そのようなところに駐車場を造るということ自体が安全ではないと思います。

(市 民) 待機児童を減らすことが目的であれば、もっと前からすべきではありませんか。それを放置してただけです。なので、待機児童解消のためと言われてもそうとは感じられません。幼稚園のことに关しまして10年前から園児が少ない状態でした。

待機児童解消ではなく、公共施設を残すという趣旨で考えたとしたら、残すためにはできるだけ利用しましょう。利用する1つに3年保育や小規模保育事業所などで空いたところを活用しましょうということだとして、最後に幼稚園という公共施設が残るということで動いた時に待機児童が少しずつでも解消するという方がいいと思います。

以前の説明会で、3年保育をしたとしても20人くらいしか減らないから案を出したと言っていました。20人でも待機児童が減れば、その人は助かります。どうして3年後のまだ産まれていない子の為に一生懸命整備をするのですか。するなとは言いませんが、今、産まれて困っている人をどうして助けないのですか。公共施設を残すためにどうしたらいいのか、どう使うのかと考えた時に、もっと様々な方法があると思います。

(事務局田中) 本日は遅くまでありがとうございました。

以上